



2025～26 年度国際ローター・テーマ
RI 会長：フランチェスコ・アレツツォ

鹿屋西ロータリークラブ週報
WEEKLY REPORT
NEWS
<https://kanoya24-rc.synapse.kagoshima.jp>
ROTARY 第2160回



2026年5月17日(日) 地区研修・協議会(地区ラーニングアセンブリー) 於：鹿児島サンロイヤルホテル

2026年2月16日

◆会務報告

- 「抜粋のつづり その85」寄贈
- 「第24回 RI 台湾囲碁大会」のご案内
日時：2026年6月14日(日)夕 歓迎会
15日(月)対局 表彰式 晩さん会
会場：敏盛智医城
- ハイライトよねやま Vol.311
- RI 第2730 地区鹿児島県東部グループ IM 反省会及び会長・幹事会の開催について(ご案内)
日時：2026年2月27日(金)18:30～
場所：あすばる大崎
- 2025-26 年度第4回奉仕プロジェクト部門勉強会 アンケートについて
- MY ROTARY へのクラブ役員登録のお願い
- 令和8年地域づくり交流事業実行委員会第2回例会のご案内
日時：令和8年3月3日(火)12:00より
場所：ホテルこぼやし
- 令和7年度鹿屋市青少年育成市民会議実務者連絡会(第3回)の開催について(お知らせ)
日時：令和8年3月5日(木)10:00～
場所：鹿屋市役所6階603会議室
- ガバナー月信3月号(HP用)データ便
- 風の便り Vol.11 No.7
- 3月例会変更のお知らせ
〔鹿屋 RC〕11日(水)職場訪問の為
湯遊ランドあいら 12:30～
→ サクラハス鹿児島工場見学

- 25日(水)⇒28日(土)18:30～さつき苑
鹿屋西 RC&かのや東 RC 合同
観桜会の為
〔かのや東 RC〕26日(木)⇒28日(土)へ変更
3RC(鹿屋 RC・鹿屋西 RC・かのや東 RC)
合同観桜会のため18:30～さつき苑
〔串良 RC〕9日(月)⇒1日(日)バレーボール大会
16日(月)祝日週休会
23日(月)ローター奉仕デー 詳細未定
30日(月)観桜会の為、会場変更 夜
〔南九州大崎 RC〕12日(木)海岸清掃 詳細未定
19日(木)祝日週休会
26日(木)観桜会の為
会場変更 会員宅
〔きもつき RC〕4日(水)⇒8日(日)11:00～
内之浦海岸又は岸良海岸の清掃
11日(水)理事会開催
18日(水)第二例会 変更無し
〔志布志 RC〕3日(火)第1週目 例会無し
10日(火)第2週目 例会無し
17日(火)19:00～3RC 合同例会
24日(火)時間変更 12:30～
〔志布志みなと RC〕4日(水)⇒7日(土)へ変更
スピーチコンテスト
志布志市文化会館 10:00～
11日(水)第2週目 例会なし
18日(水)⇒17日(火)3RC 合同例会 19:00～
25日(水)時間変更 19:30～



次回プログラム	
3月09日(月)	
卓話者：北山 勉さん	
担当委員会：ローター財団	
3分間スピーチ：前田 均さん	
出席報告	会員数 (36)39名
	出席数 34名
	出席率 94.44%

メイクアップ情報			
鹿屋	03月04日	(水)	ホテルこぼやし
かのや東	03月05日	(木)	かのやグランドホテル
串良	03月02日	(月)	セントロッド道の駅 第1週:例会無し
志布志	03月03日	(火)	大黒リゾートホテル 第1週:例会無し
きもつき	03月04日	(水)	⇒8日(日)11:00～ 内之浦海岸or岸良海岸清掃
南九州大崎	03月05日	(木)	セントロッド道の駅 第1週:例会無し
志布志みなと	03月04日	(水)	⇒7日(土)志布志市文化会館 10:00～スピーチコンテスト

鹿屋西ロータリークラブ
 会長：久木田 弘
 副会長：山崎 隆夫
 幹事：西ノ原庄一
 例会日 月曜日 12:30～13:30
 例会場 ホテルさつき苑 TEL:40-1212
 事務局 〒893-0064 鹿屋市西原1丁目9-10
 ホテルさつき苑内 TEL:44-5811 FAX:41-1959
 E-mail kanoya24@po5.synapse.ne.jp



◆2月誕生者祝



西ノ原庄一さん、前田健治さん、阪口陽祐さん

会長の時間

会長 久木田 弘さん



皆さんこんにちは、本日わくわく座席くじはビールを持参致しました。実は2月1日にRI2730地区東部グループ8クラブによります、例会振替によりますIM(インターシティミーティング)が開催されました。その終了後にフェアウェルパーティがあり、抽選会で最後に一番いい賞品として出されたビール1ケースが当たりました。それを持参致しました。

24本しかないので、当クラブより参加いただきました15名の方と、残りの9本を座席当たりくじとしてテーブルにおいて置きました。本日お帰りになりお飲みください。

IMの準備は8クラブの会長幹事で振り分けられて前日より準備致しました。西クラブは会場設営を依頼され、当日は遠矢さんをはじめとする数名の方にご協力いただきました。ありがとうございました。ただ曜日も場所も関係しているかと思いますが、東部グループ全体での出席率が40%ぐらいしかなかったのが残念でした。

そこで本日は行かれなかった方の為に、このIMの報告をさせていただきます。まずかのや東ロータリークラブ宮田会長の点鐘に始まり、西本ガバナーの挨拶がありました。最初にガバナーから、かくも盛大にじゃない、せっかく田中久夫さんをお呼びしているのに、人数が少ないとお叱りを受けました。ただ地区の会員増強は70名増えたけど年末に20名退会が出てプラス純増50名だそうです。他のグループは皆プラスだけど、この東部グループはマイナス2名だと言われ、西クラブが足を引っ張っているようで身が締まる思いでした。またガバナーが最後に強調されたことは退会防止をする事、せっかくロータリーに入会したのに仲間を失わないでくださいと強く言われました。

次に基調講演の講師紹介があり田中久夫PG 国際ロータリー第2840地区 群馬県 高崎ロータリークラブ 大学教授と紹介されました。

田中久夫 PG については以前自分が会長の時間で公式訪問の時に、会員増強について1年間で51名を純増された方として話をした方で、大変説得力のある方で、ロータリーについての会員増強の本を2冊書いておられます。

この本については東部グループよりIMに参加された方に1冊進呈されるそうです。

田中 PG のお話は会員増強をするにあたり新会員を迎えるにはどんな人を迎えたらいいか、そしてクラブはどんな迎え方をしたら良いかという内容でした。その内容の一部をお話し致します。

まずクラブを元気にするための本質について話をされました。そして最も強調していたのは、クラブの居心地の良さでした。新会員だけでなく、誰か一人でもクラブの中で我慢している人がいれば、その人にとっては居心地が悪いこととなります。

しかし温かい配慮と承認があって初めて、会員はここにいたいという思いになります。

そこには会員増強と退会防止に法則があり、それは「居心地の良さ×温かい配慮＝会員増強と退会防止」だと言われました。

また次に、クラブが求める人物像は、素直で楽天的な人がベスト。新人を推薦する際、面接(親睦会)を行うことが大事で3人くらいで食事などして、クラブで承認が出るまでしばらく待ってくださいと言って、1週間ほどしてから、「あなたは選ばれました」という事を演出する事で、入会を特別な体験にすることが大切だそうです。

また、新人はロータリーに入会することで奉仕を学び、憧れる先輩に会えて一生の友ができることを求めて入会希望してくるからこそ、迎える側の姿勢が問われると言われました。

また特に印象に残った事が、ロータリアンの文字を漢字に置き換えて2通りに表して、説明された内容が面白くなぜか腑に落ちました。

その漢字と内容は次の通りです。

まず「老多狸暗」ロータリアン

老：クラブの将来には全く関心がなく、自分の事だけに執着している人

多：自分が得をする事だけに腐心していて、まるで行動(寄付等)が伴わない口先だけの人(自己中心)

狸：クラブ・地区等の活動には参加せず、汗をかかないようにふるまう狡猾な人

暗:その人がいるだけで周囲が暗くなるような負のオーラを持った人

- このような人が好んで集まるクラブには将来がない
- このような人をクラブに入れてはいけない
- 理想のクラブには、ワガママな人が安住する居場所はない

次に「朗多利安」ロータリアン

朗:その人はとても明るい人で、皆から慕われている人

多:その人は多くの友人に囲まれ、皆から信頼されている人

利:その人は周りの人に多くの利益をもたらし、皆を幸せにする人

安:その人がいるだけで周囲が安心する。懐の深い愛情に溢れる人

- このような人が好んで集まるクラブは楽しいクラブです。
- このような人をたくさんクラブに入れましょう。
- 理想のクラブとは、誰もが我慢することのない居心地の良いホーム

このような漢字を使って居心地の良いクラブづくりを目指してくださいとの講話でした。

ほかにもまだ面白い話がありましたが、本日はこれまで。続きを知りたい方は田中久夫PGの本を買って読んで下さい。ご清聴ありがとうございました。



3分間スピーチ

有川文人さん

鹿屋市における子ども(小学生)の放課後と「貧困」

◎現状

人口	96,500人
小学校児童	5,860人

(うち特別支援児童 550人。小学校 23校)



◎放課後の拠りどころ(社会インフラとして)

- ・・・少子高齢化、共働き・一人親家庭の増加過疎、地域社会の後退等が進む。

・放課後児童クラブ

(35支援単位、2145人入所。詳細下記)

- ・放課後等デイサービス、発達支援事業所(61箇所、週2~3日利用)
- ・児童館(1箇所)
- ・小学校、放課後子ども教室(「寺子屋」=鹿屋市)

・スポーツ少年団

(ソフト、バレー、サッカー、体操等)

・習い事、塾(習字、そろばん、ピアノ、プログラミング、学習塾等)

・放課後に、自由に安心して遊べる公園や広場、施設等の減少

・こども食堂(14箇所、昼食12+朝食2)

・児童相談所、子育て支援課・こども家庭課、民生児童委員、こども子育て会議

・警察(生活安全課)

◎放課後児童健全育成クラブ(学童保育)

・1998年から、国の第二種社会福祉事業として法制化。

2015年子ども・子育て支援新制度が施行。

1~6年生を受け入れ、1支援単位は「概ね40人」。

・全国的には年々入所児童数が増加し、2024年5月現在で支援単位数は全国で3万7100箇所、146万5000人。

待機児童も1万8000人(潜在除く)に上る。

国は2030年までに165万人の受け皿拡大を想定。

・鹿児島県では現在、723支援単位で2万6400人が入所。そのうち1~3年生の入所割合は約50%を占める。

・「小1の壁」と「小4の壁」の現状。

・鹿屋市では現在、上記の通り2200人余が入所。潜在的待機児童も増えている。

保育園併設がほとんど(公設なし)。

未設置校区が4校。

・放課後児童支援員(認定資格)は現在、180名余。パートが約6割。

長期就業の未定着(処遇改善の遅れ)。

変形労働時間と人手不足。

・1年生は、学校で過ごす時間よりも児童クラブ等で過ごす時間が長い(夏休み・土曜等含み約200時間)。学校の働き方改革と「保育」としての役割。8年度から第2土曜は年3日に減。

⇨より安心安全な拠り所づくりへ、各分野の連携と情報共有、ネットワーク化が求められる。

⇨過疎地が輝くもう一つの「里山の保育」

・・・宮里六郎先生提唱)



会員卓話

下茂正和さん

例会の夜開催について

東部グループ7クラブの例会
状況について



鹿屋 RC	月4回	昼
かのや東RC	月4回	昼 夜 19:00
きもつきRC	月2回	昼 夜 18:30
	理事会	
串良 RC	月4回	昼
南九州大崎RC	月4回	夜 19:00
志布志RC	月2回	昼 夜 19:00
志布志みなとRC	月3回	第1週 昼 第2週 夜 19:30 第3週 昼

鹿屋ライオンズ	月2回	夜 19:00
---------	-----	---------

鹿屋 RC・串良 RC 基本的に月4回昼開催
かのや東 RC 基本月4回、昨年11月から試験的に夜の例会を開催
きもつき RC 月2回の例会と理事会を開催。
理事会については、理事以外の会員もオブザーブ参加出来て居酒屋等の飲食店で開催
南九州大崎 RC 月4回の例会
設立時から夜の開催
志布志 RC 月2回の例会 昼・夜1回づつ
志布志みなと RC 月3回 昼2回、夜1回。
夜については19:30からの開催
昼の例会と同様に、時間は1時間程度で、点鐘→ゲスト紹介→会食後に通常の例会の流れで行われている。

ちなみに、当ホテルで活動している鹿屋ライオンズについても夜に月2回の例会を行っているようですが、他のクラブと同様、会食後の例会を行っているようです。19時から20時で、講師や内容によっては20時過ぎになる。

《各テーブルの意見》

◆開催について

現状維持
若い会員が集まりやすい
高齢の会員の運転が心配
夜だと遅くなる可能性がある
夜は会合も多いのでは？
月曜の夜は出やすいが
夜の方が出やすい



飲み(親睦)に行ける
月1回くらいなら
デメリット など

◆開催週について

第1週は昼が良い
第1週が良いと思う
月に1回は多いのでは？



◆時間について 18:30 と 19:00 で分かれました。



◆スマイル報告

(2件)

○誕生日祝いありがとうございます。2/23 天皇誕生日 & ロータリー創立記念日です。…………… 西ノ原
○2月11日(水)に鹿屋西ロータリー新春ゴルフコンペを開催しました。当日は会員外の方々にも10名ご参加頂き、5組20名でゴルフと懇親会を行いました。アトラクションで集まった分をスマイルします。次回も奮ってご参加お願いします。……………
…………… ゴルフ同好会：久永
○本日のニコニコBOXスマイルは2,087円です。
○本日の米山BOXスマイルは2,389円です。

累計(一般) 212,100円

(財団) 69,551円 (米山) 100,032円

***** ありがとうございました *****

アジアの平和・開発専門家を育成へ - シンビオシス 国際大学にロータリー平和センターが誕生

国際ロータリーとシンビオシス国際大学の代表者らが、インド・プネでの新たなロータリー平和センターの開校式に出席しました。ロータリー財団の支援を受けて設立されたこのセンターは、アジア各地の経験豊富な平和構築の実践者を対象に、専門能力開発修了証の取得に向けた1年間のフェローシップを提供し、紛争転換、持続可能な開発、社会変革などを学ぶ機会を提供します。

「多様性が豊かで社会構造が複雑なインドにあるこの平和センターは、共感と創造性をもって紛争に取り組むリーダーを育成する絶好の場」と話すのは、ロータリー財団管理委員であるバラット S. パンディヤ氏(インド、ポリヴリ・ロータリークラブ会員)です。「このセンターから、対話と理解、そして持続可能な平和を重んじるアジアの新世代リーダーが育っていくでしょう」

新センターでは、平和・開発の分野の準修士号取得を目指す毎年最大40名のロータリー平和フェローを受け入れます。プログラムは、中堅キャリア層を対象とし、政府機関、NGO、地域団体、教育機関、メディア、国際機関などで平和や開発分野に携わった経験を持つ専門家を対象としています。(ロータリーニュースより)

週報担当：梅北